



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第102号 発行日/2011.3.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

体験が子どもたちの未来をひらく

子どもたちに働く意義を体感させながら、社会人・職業人としての自立をめざす『日立市職業探検少年団』は、地域や産業界が一体となって支援する取り組みです。それぞれ多種多彩な内容で活発な活動を行っています。

大切なことを学ぶ場

日立市職業探検少年団は平成18年度に農業、林業、水産業、ものづくりなど、7つの少年団が設立されました。

産業分野ごとに団を結成、それぞれの分野の専門家などが子どもたちの指導にあたります。各団とも活動は月1～2回程度、土・日曜日を利用して行われています。団員は各分野の専門的な学習はもとより、おとなたちとの関わり方や社会との繋がりなど多くの大切なことを学びながら自分たちの未来を探っていきます。

設立から5年目の今年度、少年団は9つで、23年度は新たに「メディア探検少年団」が設立されます。

- 農業探検少年団は、田植え、稲刈り等の体験を通して食育や日本の伝統的な祭事を学びます。
- 林業体験少年団は山や森から自然を学び、間伐や下草刈り等の体験

から森林の大切さを体得します。

- 水産業探検少年団は、漁港や水産工学研究所などで海に関する仕事を学び海の恵みを体感します。
- ものづくり探検少年団は、日立のものづくり産業の歴史を学び、ものづくりの体験をします。
- パソコン探検少年団は、情報処理やパソコンの基礎知識を学び、情報検定（J検）取得を目指します。
- 福祉探検少年団は、ヘルパー養成講座や地域介護を通して高齢者とふれあい、福祉の仕事の大切さを

学びます。

- 科学探検少年団は、実験や工作の体験を通してエネルギーを中心とした科学を楽しく学びます。
- 建築デザイン探検少年団は、建築に係わる工程や未来の自宅の設計など建築の楽しさを体験します。
- 観光探検少年団はいろいろな観光スポットの見学などを通して、日立の観光について学びます。

希望に満ちた修了式

2月19日、日立商工会議所で合同修了証授与式が行われました。

各団の団員の氏名が点呼され、団長から修了証が渡されました。

続いて、それぞれの団の代表が今年度の活動や感想を発表。職業探



1年間の活動を終え成長した団員たち

検少年団の活動を通して学校では知り得ない多くを学んだことや、さまざまな職業に支えられて社会が成り立っていること、たくさんの人たちに関わって自分が成長でき感謝していることなどが話され、会場は温かな拍手に包まれました。昨年に続き今年も、少年団の活動を通して将来自分がなりたい職業を見つけ進路先を決めた中学3年生の団員がいるそうです。職業探検少年団の活動で子どもたちは大きく成長し、貴重な体験を未来につなげていったようです。

日立さくらまつり 百年塾コーナー開設（平和通り） みんなで遊ぼう昔の遊び！

4月9日（土）～10日（日） 11:00～15:30

平和通りを中心に日立さくらまつりが開催されます。百年塾は今年も参加、「昔遊び」などのコーナーを設けます。おとなも子どももみんなで楽しめますので桜見物の際はお立ち寄りください。

「昔遊びの達人」募集！

「昔遊び」のコーナーでは、あやとり・お手玉・けん玉・輪投げなどを教えてくれる人を募集しています。

詳しくは百年塾サロンにお問い合わせください。（TEL 23-9165）

元気なまちづくりのキーワードは“連携・協働”

元気なまちや地域には新たな事業への取り組みがあり、企業、行政、市民が連携や協働することで、様々な人とのネットワークが生まれ、知恵やアイデアや市民のやる気が結集し元気なまちづくりを進めています。

中小路コミュニティ推進会与行政 『なかまるしえ』で賑わい創出

中心市街地をエリアに活動する中小路コミュニティ推進会が、日立市と協働で、イトーヨーカドー日立店ピ・タッチ館1階に、市民が気軽に利用できる場『なかまるしえ』を2月5日(土)に開設しました。絵本コーナー、展示コーナー、交流コーナーが設けられています。『なかまるしえ』とは、中小路の「なか」と市場という意味の「まるしえ」という言葉を合体した造語です。

この事業を協働で進めている中小路コミュニティ推進会の矢部敏晴会長と福地烈事務局長を訪ねました。

高齢化率が市内3番目に高いこの学区にも、マンションが建設され若い人も居住するようになった半面、外部とは関係なく暮らしたいという人も増えています。23学区で実施している子育て支援の「おもちゃライブラリー」を開設して驚いたこと

は、すぐそばに「日立市子どもすくすくセンター」があるにもかかわらず、参加者が多いことでした。

矢部会長がこの若い人たちとも一緒に活動をしたい、中小路交流センターに一人でも多くの人に来てほしいという思いからスタートさせた新



いろいろな活動の場には

事業が、この『なかまるしえ』でした。3月にはコミュニティまつり(仮称)がありバザー出店者、体験コーナー

には昔遊び、竹とんぼづくり、お菓子やパンづくりなど得意技をもった人たち、交流センターで活動する団体の協力はもとより、仲間である中里コミュニティ推進会の石川諒一会長にも声をかけ、中里で生産される野菜や果物などの販売への協力ももらえるとのことでした。

場所を移した『なかまるしえ』にも、様々な人たちが自分のできることで楽しみながらこの事業を盛り上げ、賑わいを創出しています。いろいろなアイデアも交流センターに寄せられています。

絵本コーナーの絵本がまだ不足しています。不要になった2~3才用の絵本を提供してください。

(中小路交流センター Tel 22-6483)

子ども記者がまちを元気に

来年度、百年塾情報部会が中心となって新設される「ひたちメディア探検少年団」は、子どもたちの「感動する心」と「伝える力」を育てることを目的とします。

団員は広報の基本を学びながら、さまざまなメディアを通して自分たちが見たことや考えたことを伝えていきます。この主旨に「JWAY」や「FMひたち」が賛同、連携・協力をしてくれることになりました。

情報部会はこれまで、2005年にはJWAYと連携して5時間におよぶ百年塾フェスタの生中継を行いました。市内の高校生たちが参加してテレビ中継のサポートをしたり、自分たちで撮影した会場内の映像を

編集・放映しました。昨年のフェスタ2010では小・中学生や高校生を対象に一日記者を募集。レポーターとしてFMひたちの番組に出演して会場の様子を伝えました。高校生たちが手本となり、小学生たちもレポーターの役割を見事に果たしました。メディアのプロとの連携によって少年団ではどのようなことができるか楽しみです。

こうした様々な団体やたくさんの人たちと関わりを持ちながら、子どもたちの広報力を養っていきます。

情報があふれる今の社会の中で、子どもたちが情報の善し悪しを判断しながら、自分の目や耳でものを見聞きし人に伝えることができる環境をつくるために、興味のある方、ぜひ応援をお願いします。

23年度 百年塾広報セミナー

PTAの広報紙づくりをしている委員さんを応援します!

第1回 「広報の基本の基」

広報紙づくりの基本を学びます。

- とき 5月21日(土)13:00~
- 場所 日立市教育会館(末広町)

第2回 「編集のしかた」

実際に編集をしてみます。

- とき 6月18日(土)13:30~
- 場所 日立市教育会館(末広町)

私たちは百年塾運動を応援します (敬称略) 2010.11.22~2011.2.10

【団体】(株)日立製作所日立事業所

【個人】黒田よしえ 小田切亘 野崎一面川道宏 佐藤福次郎 藤田鎮男 真木芳子 神永敏光 鈴木孝 稲村

浜 桑名勇児 栗原由紀子 五十嵐宏 橘松壽 蛭田悦子 西原功 初鳥小百合 和知信夫 諸田なみ子 芳賀理恵 佐藤善祐 佐藤朝勝

百年塾協賛金にご協力を!

●個人 一口 1,000円

●団体 一口 5,000円

※お問い合わせは百年塾サロンまで

素敵な出会いをみんなで応援

日立市と百年塾、いばらきマリッジサポーター県北地域活動協議会の共催で、独身男女の出会いを応援する「ひたちバレンタインパーティー」が2月6日、ホテル天地閣で開かれました。

パーティーに先立って開催された「ひたち出会い応援セミナー」では、財団法人日本青年館結婚相談所専門相談員の板本洋子さんが「出会い・結婚支援活動の現状とこれから」について話しました。

板本さんによると、全国的に未婚率は年々増加、全国の市町村行政も「出会い事業」や「結婚支援事業」を行っているがなかなか結婚に至らないそうです。板本さんは問題点として、①出会いがない②相手との関わり方がわからない③結婚観の違い④結婚への期待と躊躇などを挙げ、この中から、男性の消極性、女性の理想との食い違いや諸々の社会的不安などが見えてくると話します。

解決の糸口として、結婚は「パートナーと生きる人生」であることから、条件のすり合わせからのスタートではなく人間的な目線を持つこと。出会いはさまざまな人脈から得られることや固定的な結婚観ではなく多様な形や生き方を考えること、二人サイズで人生を創造してみることを話し、まずは失敗を恐れず恋の入り口に立つことを奨めました。

また支援する側もカップル誕生を目的とせず、まちづくりをはじめ様々な場に未婚の人たちを引っ張り出すなど、連携体制で出会いを創出することが大切と結びました。



時間とともに会話もはずむ

続く「ひたちバレンタインパーティー」では男女各30名募集のところ、合わせて67名の参加がありました。

茨城大好き！！ 『茨城王』の青木智也氏が百年塾で講演

著書『いばらぎじゃなくていばらき』で人気の青木智也さんが2月5日、シビックセンターで「知ればおもしろ茨城県」と題して講演をしました。

青木さんは一度は都会に憧れ、6年半を東京と横浜で過すも、都会が



笑いがあふれる会場は満席

必ずしも田舎より勝れてはいないと茨城の良さを再発見しUターン。茨城には良い所・物・環境等がたくさんあり「思ったより悪くない」と熱く語ります。

茨城県は47都道府県別地域ブランドの調査で2年連続最下位。しかしこれを逆手に取れば大きなPRポイントであり、統計では測れない茨城の良さを知ってもらいたいとも。「ダサイ」と思っていた「茨城弁」にも大きな価値があると、茨城弁のTシャツ「ごちゃっぺ VS・・・」や車のステッカー等を作成・販売するなど茨城のイメージアップに余念がありません。売れ行きも上々でPR効果も大きいとの事です。私たちが、風光明媚で住み良く情緒豊かな日立のまちのすばらしさを再認識し、日立音頭の歌詞の「一度来る人二度になる、三度来るときゃ住みに来る」と言えるよう郷土に誇りを持ち、再生に励みたいと実感させられた講演でした。

バレンタインにちなみ、合図に従って女性だけがテーブルを移動するスタイルに。誰もが初めは緊張した面持ちでしたが、テーブル毎に自己紹介をしながらいろいろな人と話しをするうちに表情が和らぎ、会場は次第に熱気に包まれていきました。

この日、5組のカップルが誕生。「いいおつき合いを続けてくれれば」と関係者らは嬉しそうです。

なんでも挑戦してみたい！

「第17回朝日新聞スクラップコンクール」で朝日新聞社賞を受賞した日高小学校2年生の片平百美さんは、小学校入学と同時に小学生新聞を読み始め、スクラップの面白さを知ったそうです。

スクラップは、興味がある記事を切り抜き、内容や感想を書き入れます。1年生の頃はお母さんの清美さんに記事を読んでもらったり解説してもらったりしたそうですが、今は自分で読むことができます。しっかりと内容把握や感想は、お母さんの読み聞かせや幼稚園の頃から書いている日記で培われたようです。

好奇心旺盛な百美さんはいろいろなことに興味を持ち、何にでも



昨年も「朝日小学生新聞賞」を受賞

挑戦するそうです。「何でもまずやってみないと楽しさはわかりません」と百美さん。礼儀正しくハキハキした受け答えに大人が襟を正す思いでした。

市民教授（新登録）

2010.11月～2011.1月に登録の方(敬称略)

■大森佑樹(バルーンアート) ■浅野哲子(ハンギングバスケット:園芸)



百年塾ひろば

平成23年度
受講生募集

百年塾市民カレッジ

生きがい探し 仲間と出会い 楽しく学ぼう

- 開講日 平成23年6月8日～10月26日
原則 水曜日の9:30～14:20 全20日
- 場所 主として茨城キリスト教大学（JR大みか駅隣接）
- 講座内容 環境問題、教育、福祉など一般教養科目
生きがい探し、まちづくり、地域活性化など生涯学習科目
趣味、仲間づくりなど自主活動科目
- 講師 大学教授、市民教授、日立市・市民活動関係者
- 募集人員 42名（先着順）、概ね70才以下の方
- 受講料 日立市内の方 7,000円、日立市外の方 10,000円
自主活動費、教材費などの自己負担もあります
- 申込み先 5月13日（金）までに往復はがき、FAX、Eメールのいずれか
氏名、性別、生年月日、住所、電話番号を書いてください。
宛先 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11
ひたち生き生き百年塾推進本部
FAX 0294-24-5200 Eメール iki100j@net1.jway.ne.jp
- お問合せ 百年塾サロン（TEL 0294-23-9165）
<http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>
- 共催 茨城キリスト教大学

原点にかえて 百年塾の役割を議論

百年塾推進委員研修会が1月31日、女性センターで40名が参加して開催されました。

この研修会は毎年1回実施され、今年度は「明日の百年塾のために何をなすべきか」をテーマに、現状の課題の解決策を討議しました。

はじめに西村副本部長が「ひたち生き生き百年塾の取り組み」について基調講演をし、「日立市の市民参加の歴史」が草の根ボランティア活動から始まり、地域・学校・企業などを巻き込んだ『人づくり、まちづ



くり』の百年塾活動に発展していった経過を振り返りました。

続いて、研修会のテーマをもとに各部会から提起された5つの課題について、グループに分かれて意見交換を行いました。

共通意見としては①若い人の意見を取り入れる努力②コミュニティと相互交流を深める③時代に合わせ市民のニーズに沿った企画④電子情報のみならず紙世代への配慮⑤人材の育成などが挙げられました。

討議の結果を踏まえて次年度の事業計画に生かし、多様な連携を図りながら役立つ百年塾を目指します。

写真の投稿を待っています！

皆さんの写真を百年塾ホームページに掲載します。身近な季節の花や風景、何気ない子どもの姿などホットな写真をお寄せください。応募多数は掲載が遅れる場合があります。お問合せは百年塾サロンへ

百年塾推進委員を募集します

「ひたち生き生き百年塾」は、市民生活のあらゆる分野において、互いに学び合い教え合いながら、日立のまちづくりにつながることを目的に生涯学習運動を進めています。

百年塾推進本部は目的達成のために、情報・人財・ネットワーク・学校・産業の5部会を設けています。

現在、約150名の推進委員が活動しています。

誰でも百年塾の推進委員になることができます。新しい推進委員を募集していますので、関心のある部会で一緒に活動してみませんか。

詳しくは百年塾サロンにお問い合わせください。（TEL 23-9165）

私たちがご案内します

日立のまち案内人

公募や依頼など、年間を通じて活発な活動を続けています。

平成23年度最初の市民対象の事業は、4月15日（金）、「宇宙科学を学び春爛漫の自然を満喫しませんか」と題して、茨城大学宇宙教育センターの見学や、森林総合研究所林木育種センター、たかはら自然塾など日立北部から高萩市にかけての春爛漫の自然を散策します。詳しくは市報4月5日号に掲載されます。

JWAYの放映

日立のまち案内人の活動は日曜日を除く毎日放映されています。ぜひ、ご覧ください。

2月中は泉が森、イトヨの里、3月中は諏訪梅林です。

【放映時間】

月～木 7:20、20:40
金・土 7:20、21:30からのいずれも10分間です。